

平成29年度 第2回加西市立図書館協議会 議事録

日 時 平成30年3月13日（火） 15:00～16:25

場 所 アスティアかさい3階 会議室

出席者 委員8名：岡本昌文、周夕美、松尾弥生、中安恵子、丸岡玉代、深田英世、
小林俊広、野崎淑子

教委・図書館4名：高橋教育長、高井館長、伊藤館長補佐、増田主任

欠席者 山端一男、岡章雄

1. 開会 伊藤館長補佐が開会を伝えた。（15:00）

2. あいさつ

会長あいさつ

- ・図書館は当協議会での提案事項を確実に実行している。来館者や貸出資料数が増加している。
- ・加西市は読書力向上を目指し、各学校及び図書館に予算を多く措置してある。このことが、図書館のバックアップにつながっている。若者の読書離れに対し、先手を打っている。
- ・加西市立図書館は、スムーズに本を借りることができ、スタッフの対応もよい。

教育長あいさつ

- ・新年度予算について

図書館発案のブックスタート事業（1歳半健診で図書館推薦本を2冊配付）は好評である。

市内小・中・特別支援学校に図書費として各50万円を予算化。

活字離れを防ぐため、学校図書館への新聞設置を引き続き行う。

- ・課題について

集客施設としての役割があり、全日開館や集客イベントを開催している。職員に負担がかかっている。人手不足の中、臨時職員が集まりにくい。来年度より待遇改善を行うが、離職防止が関の山。図書館のあり方も考えていく時期に来ているのではと考えている。

3. 議事

伊藤館長補佐から、これからの議事の進行を小林会長に依頼した。

（1）平成29年度図書館利用状況について（高井館長・増田主任説明）

委員：来館者数や貸出冊数が増えた理由は何だと思ふか。

事務局：予算確保したため、新しい本を多く購入していることがあると思う。数年前に比べ図書資料の予算が増えている。また、図書館スタッフが本の整理を心がけてくれていることもある。

委員：加西市立図書館は不明本が少ないが、本等の万引きを現行犯で見つけたことはあるのか。

事務局：最近に確実な現行犯を見つけたことはない。不明本は近隣に比べ、加西市は少ないほうと思う。

委員：図書館臨時職員の勤務期間はどれくらいなのか。

事務局：長い人で7、8年。短い人で半年くらい。ただ半年というのはまれである。やはり結婚等で退職することが多く、2、3年で退職する人が多い。土、日が休みでないことも退職理由としてあるのではないか。

委員：月に土、日はどれくらい休みがあるのか。

事務局：正職員と臨時職員では多少異なるが、3分の1くらいが休みである。土日連続の休みもある。臨時職員は、月に5～7日程度、土日の出勤がある。

委員：ブックスタート事業は良い取り組みだと思うが、6歳以下の図書館の利用人数が少ない。

事務局：図書館カードでの利用者人数の集計のため、保護者のカードで借りられると年齢ごとの集計では少なくなってしまうということはある。

委員：来館者数はどうやって数えているのか。

事務局：図書館入口にセンサーによるカウンターが設置されている。

委員：学校図書館も図書の充実を図ってもらいたい。子ども達は新しい本が好きである。古い本は置いていても読まない。図書館スタッフに学校図書館に来てもらって驚くのは、本の配列の仕方である。本が取りやすいように棚の後ろまで本をさげない。また、団体貸出しの託送サービスはありがたい。市内の小学校では、必読書の改定を考慮しており、選書等で図書館に協力をお願いしている。

事務局：団体託送サービスの冊数が昨年より減っているが、これは、昨年、各学校から同時期に同じ単元で使用する本の託送依頼があり、後から依頼のあった学校に貸せなくなってしまった。そのため、今年は調整して貸し出したが、思ったほど依頼がなく、結果的に少なくなってしまった。

委員：九会小学校が図書館教育に秀でていると聞くが、他の小学校とどう違うのか。

委員：九会小学校には図書館ボランティアの方が常駐されている。また、本の貸出しをコンピュータ化している。

委員：以前の図書館協議会で、中学校では、生徒が学校図書館に行く時間がない。ということであったが、小学校では昼休み等、学校図書館に行く時間はあるのか。

委員：業間休みと昼休みに行く時間がある。

委員：以前、図書館スタッフに本の展示の方法のやり方を教えてもらい、図書委員が学校図書館で実践してみた。そうすると、子ども達の意識が変わった。短い時間でも学校図書館に行くようになった。

委員：先日、賀茂幼児園のひな祭り会に図書館スタッフに来てもらい、季節本の読み聞かせと本の貸出体験をしてもらった。その時に、図書館スタッフが表紙見せをして、本を立てて展示しているのを見て、本が見やすいと思った。また、幼児園職員は、よく図書館で本を借りて、子ども達に園で読み聞かせをしている。間接的に園の子ども達は図書館の本を読んでいる。

事務局：幼保施設には、昨年に比べ、数多く読み聞かせや絵本貸出体験に行かせてもらった。団体貸出もあるので図書館を利用してほしい。

(2) 図書館システムの更新について (増田主任説明)

委員: 在架資料の予約について、大型絵本等、季節にあった本を使いたいという要望があるが、どれくらい前から予約できるのか。

事務局: 取り置きは1週間である。1週間が過ぎるとキャンセルになる。

委員: 予約というのは、借りたい日を設定するのではなく、今から借りに行きます。という予約なのか。

事務局: そのとおりです。貸出中の予約と同じで、資料の用意ができたなら連絡するので来館してください。という運用である。季節に関する大型本は人気があり、当図書館でも購入するようにしているが、大型本は発売自体が少ない。

委員: 新刊は、発売されてからどれくらいで図書館に入って来るのか。

事務局: 本が発売されてから、発注して、装備会社を通し図書館に納品される。装備会社からは週に1回納品されるため、早くても1週間はかかる。新刊であっても、在庫のないものもある。装備会社からの最初の納品に間に合わない、さらに1週間は遅くなる。

委員: 図書館システムが新しくなって、使いやすくなった。動きが速くなったように思う。雑誌スポンサーの制度も最初は驚いたが、地域に応援者がいるのはいいなと思う。

(3) 館内設備の修繕について (伊藤館長補佐説明)

(4) 提案事項にかかる経過報告について (伊藤館長補佐説明)

(5) その他

委員: 加西市立図書館と関わりを持っているボランティアの方はどのような方たちなのか。

事務局: グループでは「かさい・えほんの森」と「ぶらんこ」がある。図書館内で活動されているのは「かさい・えほんの森」で、毎土曜日におはなしの部屋で、交替で読み聞かせをいただいている。時おり、自ら企画したおはなし会を開催されている。「ぶらんこ」は主に学校で活動されており、秋には、「ほくぶキッズ」「ぜんぼうキッズ」等、つどいの広場でも読み聞かせをされている。

また、個人で、点訳をしてくださっている方が1人いる。

委員: 昔から読み継がれているロングセラー絵本は閉架書庫に所蔵されていることが多いが、もっと子ども達に触れさせてあげたい。閉架ではなくもっと目につきやすい場所に出してほしい。

事務局: 加西市立図書館では、発売された絵本はほとんど購入している。閉架書庫のスペースには限りがあるため、新しい本を購入すると、どうしても古くなった本は、閉架書庫に移動させることになる。しかし、もっと利用者の方の目に触れる機会を増やすということで、昨年も開催したが、ロングセラー本の展示を4月から5月にかけて行う予定なので利用いただきたい。

委員: 本をリクエストした場合、当図書館で購入するのか、他館から借りるのか、その基準はどうなっているのか。

事務局: 購入するのがいいと判断すれば、購入する。また、古い本であれば、県立図書館や近隣

図書館から借りている。リクエストされた本を確認して、購入するか借りるか判断している。

委員：選書の組織はどのようになっているのか。

事務局：資料係が数名おり、新刊一覧等でチェックをして購入している。

委員：4階に上がったところにある、OPAC（館内蔵書検索システム）の機械を操作していると、他の来館者に見られているような気がする。場所を変えることはできないか。

事務局：利用者にすぐわかる場所に置いている。移動させるにも他に適切な場所がない。

委員：閉架書庫には入ることはできないのか。自分で本を探したい。

事務局：閉架書庫には貴重な本も置いているため、スタッフのみの立ち入りにしている。借りたい本はスタッフに言ってもらえれば出してくる。

委員：テラスの parasol がなくなっていたが、どうなったのか。

事務局：大雨の際に一度片付けた。また、出しておく。

委員：館内のフローリング部分を歩くと音がする。何か敷いてあればよいのだが。

事務局：フローリングの上に敷物を敷くと、つまづく危険もあるため、ご理解いただきたい。

4. 連絡事項

次回開催は、平成30年6月下旬の予定で了承を得た。

5. 閉会 中安副会長が閉会の挨拶をした。

- ・仕事上、障害を持った子どもと関わることが多いが、外国籍の方も多し。保護者の方は子どもを図書館に行かせたいと思っているが、なかなか行きづらい。図書館を誰もが楽しんで行ける場所にしてほしい。障害を持つ子どもにも利用してほしい。より良い、誰もが来やすい図書館を目指して、図書館スタッフや関係機関の方々と連携協力してやっていきたい。

(16:25 終了)